

時局日誌（八）

Y H 生

三月十一日

貴族院に於ては電力、農地、

路、北支の南鄭新飛行場を爆撃した。

同年度各特別會計歳入出總豫算の裁可公

臨時軍事費、恩給金庫、恩給法、庶民金

庫、社會事業法商店法等の諸案調集し衆

布

議院に於ては總動員法案をめぐつて討議

協力し湖州、南鄭、南昌、漢口、瞿州、

昭和十三年度赤字公債發行法（法律第

が續けられておる。

廣九鐵道等北、中、南支各所を空爆した。

六號）公布

支那では彭德、新鄉間の鐵道修理成り此

日開通した。着工以來十六日間で延長八

衆議院では議員提出の支那變に際し

キロの復舊工事が完成した譯である。

召集中の者の選舉權及被選舉權等に關す

衆議院に於てはもみにもんだ國家總動

三月十二日 衆議院に於ては總動員法案が

の件公布

員法案が無修正で可決せられたが社大の

尙紛糾を續けて居り政府より臨時農村負

債處理法案が提出された。貴族院では電

西尾末廣氏が近衛首相鞭撻の爲めにリヒ

力法案委員會で松本貞治博士有地藤三郎

の如くムツソリニーの如くスタ

ーリンの如くと口をすべらして懲罰委員

氏から細目に涉つての質疑が行はれた。

北、中、南支の各地に於て海軍航空部

隊の空襲が行はれた。楊子江入口の最大

島鵠鷗沙島民は大道政府治下に服するこ

トとなつた。

太湖附近警戒中の加藤砲艇隊は大帆船

三月十三日 海軍荒蠻隊は南支の自動車道

三月十六日 昭和十三年度歲入出總豫算並

天津總領事館では天津在住の半島出身貧困者救濟方策を考究中であつたが、蘆臺に土地三千五百段歩を買収し五百家族約二千名を大量移民し水田耕作に從事せしむることとなつた。

三月二十六日 帝國議會は一日延長されて

此日電力法案は兩院協議會でスツタモンダの後漸く妥協成立して兩院で可決を見

ることとなつた。

三月二十七日 貴族院に於て閉院式が行は

せられ左の語を勅語を賜はつた。

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併

セテ卿等克ク朕カ意ヲ體シ協賛ノ任ヲ

竭セルノ勞ヲ嘉獎ス

廣德附近の討伐に當り二十六日までに我

れと交戦せし敵の總數は凡そ一萬九千に

及ぶも眞に鎧袖一觸にしてその遺棄死體

は既に三千を超えたと上海軍司令部より發表。

三月二十八日 中華民國維新政府成立式典

を南京に於て舉行し政綱並宣言を發表。

有價證券業取締法(法律第三二號)重要鑄

物増產法(法律第三五號)日本產金振興株

式會社法(法律第三六號)公布、昭和十三

年度歲入出總豫算追加の件公布此日杜莊

占領。滿洲建國初代國務總理鄭孝胥氏逝

去。

三月二十九日 此日上海共同租界靜安寺路

のイタリー總領事館に對し道路より爆彈

を投じたものがあつた。

東京市會に於ては來年度歲入出總豫算

案は二十九日午後五時開會の繼續市會で

普通經濟二百九十万圓修正減額され普通

經濟一億五千三百七十六萬六千九百九十一

二圓、特別經濟二億一千二百八十八萬圓、

四千百二圓合計三億六千六百五十七萬五

百九十六圓を可決決定し。主なるもの

はオリンピック大會街路修築費六百萬圓

(二千年繼續一千萬圓)同施設費三百萬圓

(三ヶ年繼續六百萬圓)萬國博土木事業費

五百六十萬圓(三ヶ年繼續千九十五萬圓)

東京飛行場建設費四百萬圓(三ヶ年繼續

千二百萬圓)等で皇紀二千六百年記念事

業に重點を置いてゐる。

工作機械製造事業法(法律第四號)航空

機製造事業法(法律第四一號)公布

三月三十日 臨時租稅增徵法中改正(三、三

一日法四二號)新舊法中改正(三、三一日

法四三號)臨時利回稅法中改正(同法四五

號)支那事變特別稅法(三三〇法五一號)

登錄法中改正(四六)相續稅法中改正(四

七)臨時租稅措置法(三、三〇法五二)有價

證券引受業法(同五三)等の諸法律公布

最近宣撫班の調査によれば河南省黃河

北岸地域内二十五縣、人口五百五十四萬

のうち細民二百二十四萬、飢餓狀態にあ

るもの百二十五萬もあるので振濟部及び

宣撫班では救濟金二十萬元を以て滿洲國

より穀糧の買付をなし前記地方はじめ北

支各地貧民の救濟をなすことになった。

津浦線臨棊支線棗莊附近に於ける戰闘に於て我が軍の鹹獲せるもの機關車五、

貨車十五噸積八輛、三十噸積十輛、四十噸積無蓋無側貨車五輛。

三月三十一日 國家總動員法（四、一法律

第五五號）恩給法中改正法（四、一法律第

五六號）恩給金庫法（四、一法律第五七

號）庶民金庫法（四、一法律第五八號）社

會事業法（同法第五九號）國民健康保險法

（同法第六〇號）支那事變特別稅法施行規則

（同勅第二〇〇號）等の諸法令公布

杜の都北京が楊柳槐樹を初め萬物一時

に甦る新綠の候を前にして來る五日新

政府治下最初の植樹節が天壇で行はれる

事になつた、植樹節は民國初年以來四億

民衆を春の草木の如く明るく希望に充ち

た生活に導くための一つの精神運動とし

て毎年行はれて來たのだが、當日は新生

北支の將來を壽いで余晉龢市長以下市公
開設、總務局長俞偉、道路局長程式峻、

キロ）に列車運轉してゐたが一日より更

に燕湖宣城間七十キロの鐵道開通第一列
車は午前十時燕湖發午後二時無事宣城に
到着したこれで江南線百七十キロは全線
の開通となり同方面における我軍の持久

作戦上に多大の便宜を與へることとなつ
た。

北京臨時政府の建設總署は一日を以て

東久邇宮妃殿下には二度の御差遣で御

署の職員全部出席し楊樹や松柏の苗木を

植ゑ苗木の生長と共に明朗北支が／＼す

く發展するやう祈る事になつてゐる。

四月一日 農地調整法（四二法第六七號）農

業保險法（同第六八號）農村負債處理法

（同第六九號）硫酸アンモニヤ增產及配給

統制法（同法第七號）陸上交通事業調整法

（同法第七一號）郵便規則（四〇遞信省令

二五號）郵便禁制品（四一遞信告示九八一
號）等諸法律省令の公布

江南鐵道はこれまで南京—燕湖間（百

キロ）に列車運轉してゐたが一日より更

に燕湖宣城間七十キロの鐵道開通第一列

車は午前十時燕湖發午後二時無事宣城に

到着したこれで江南線百七十キロは全線

の開通となり同方面における我軍の持久

作戦上に多大の便宜を與へることとなつ

た。

都市局長林是沈の陣容で殷同署長、李宣

意副署長等は近く北支土木事業の總括的

計畫を立案することとなつた。

四月三日 皇后陛下に於かせられては常に

名譽の戰傷病兵の上を思召させ給せらる

るが今同全國百數十箇所陸海軍病院並に

療養所にも各宮妃殿下方を御差遣御見舞

ひせしめられる旨御仁慈深き御沙汰あり

宮内省では調査の上御準備申上げてゐた

ところ御差遣の宮は

竹田宮大妃昌子内親王、北白川宮大妃

房子内親王、東久邇宮妃聰子内親王の御

三方をはじめ奉り閑院若宮妃直子殿下、

東伏見宮大妃周子殿下、伏見若宮妃朝子

殿、賀陽宮妃敏子殿下、久邇宮大妃倪

子殿下、梨本宮妃伊都子殿下、竹田宮妃

光子殿下、李王妃方子女王殿下の御十一

方に御決定御差遣並に御日程は一日仰せ

出された。

一同は御十二御差遣に分れ外に東京、神奈川、埼玉、千葉の最寄府縣二十三ヶ所には今後御差遣の宮を御決定四月末から五月中に御差遣あらせられることとなつた。

四月四日 燈火管制規則（内、陸、海、遞、鐵省令第一號）商法中改正の件（四、五法律第七二號）商法中改正法施行法（四、五法律第七三號）有限會社法（四五法律第七四號）等の諸法令公布

◎ 内閣訓令號外

各官廳

昭和十三年度ニ於ケル豫算實行方ニ關スル件

昭和十三年度一般會計豫算及今回ノ臨時軍事費追加豫算ハ時局ノ急需ニ應ゼンコトヲ期シタル爲努メテ緊縮ノ旨トシタルモ尙其ノ額合計八十億圓ヲ超エ各特別會計豫算亦何レモ相當ノ増額ヲ示セリ即チ之ヲ過去數年間ノ狀況ト比較スルニ我國

ノ歲計ハ大約三倍強ニ増加セルモノニシテ之ガ國民經濟ニ及ボス影響ノ至大ナルハ勿論現在及將來ニ於ケル國民負擔ノ增加ヲ來スコト多ナルモノアリ依テ之ガ

使用ニ當リテハ政府部内一統釐毫ノ徵モ

國民勤勞ノ結晶ナルコトニ思フ致シ此際特ニ左記條項ニ深ク留意スベシ

一、豫算ノ實行ニ當リテハ其ノ目的トスル所ヲ省察シ有效適切ニ經費ヲ使用シテ最モ能ク其ノ效率ヲ高メ所期ノ效果ノ達成ニ努ムルコト

一、經費ノ使用ニ當リテハ苟クモ放慢ニ

流ルルガ如キコトナク釐毫ノ末ニ互リ

テモ節約ヲ勵行スルコト

一、將來情勢ノ變化ニ伴ヒ不要ノ經費ヲ

生ジ又ハ經費ノ一部ニ剩餘ヲ生ジ得ル

場合ニ於テハ之ヲ使用スルコトナク經

費ノ不用殘額ヲ生ゼシムル様努ムルコ

ト

一、豫算使用ノ方法ニ關シテハ金融物資

及物價ノ關係經費ノ地方的分布狀況等ニ不斷ノ注意ヲ拂ヒ苟クモ國民經濟上惡影響ヲ及ボスコトナキ様具體的方策ヲ講ズルコト

昭和十三年四月四日

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿

太湖西方地區掃蕩戰はおぼむね所期の目的を達したが、この作戦下の諸部隊はいづれも峻険なる地區に據る敵と連日戰ひを交へ進撃を續けたに拘らず損害は極めて輕微であつた。即ち三月十六日より三十日に至るまでに大小の戰闘は合計二十三回抗戰した敵兵力約一萬三千（内正規兵約六千、他は紅槍會匪、學生軍等で

あるが高橋佐藤兩部隊のみで得た敵の遺棄死體は三千に及んだ我方の損害は二十七日廣德北方約二十キロ流洞橋附近の戰闘において高橋部隊川久保中尉が壯烈なる戰死を遂げたほか死傷若干を出したのみである。

南京の電報局は五日から復活、上海、

青島および河北、河南兩省各地との間に

發着する電報および國際電報を取扱ふこ

とになつた。日本向和文電報も近日中に

取扱ひ開始の豫定。

上海市大道政府では今次支那事變にお

いて戦歿または殉難した兩國將士並に民

衆の靈を弔ひ合せて日支兩國親善提携の

實を擧げるため四日から來る九日まで上

海濱榔路の玉佛寺において佛教、儒教、

基督教、回々教、道教等の世界的代表宗

教家を一堂に集めて日支合同慰靈祭を執

行。

四月五日 日滿國稅徵收事務共助法(四、六

法律第七五號)電力管理法(四、六法律第七六號)日本發送電株式會社法(四、六法律第七七號)電力管理ニ伴フ社債處理ニ關

スル法律(四、六法律七八號)電氣事業法
中改正法(四、六法律第七九號)等諸法律

公布

四月六日 北京に新政權が誕生して以來躍

進一途の北京に日本精神作興の中心的機

關がないことは遺憾であると北京在住の

日本人識者の間で叫ばれてゐたが今度根

本大佐が發起となり在住將兵日本人を委

員として北京武德殿を建設することにな

り第一回委員會を八日午後七時から北京

公會堂で開催これが具體的建設案につい

て打合せを行ふことになつた。

英國支那艦隊艦船カムバーランド號に

坐乗して五日上海に着任した新任司令長

官ペリー・ノーブル中將は六日午前十時

五十分參謀長ハリサー少將を帶同して我

が支那方面艦隊出雲に司令長官長谷

川中將を訪問し新任の挨拶をなした。

長身赭顔のノーブル中將は甲板上に出

迎へた長谷川中將と握手を交した後長官

室に導かれて兩長官日本酒の杯を擧げて

健康を祝し同十一時退出尙同日午後一時

十五分長谷川司令長官は幕僚を隨へて力

ムバーランド號を訪問ノーブル中將に答禮をなした。

四月七日 中華民國維新政府誕生以來南京

への復歸避難民は連日三四千名に上り、

南京の人口は一躍今や四十萬となつた。

一面南京市内各方面の諸施設も漸次回復

電燈電力は三力三萬キロの下關發電所の

修理完成し城内は勿論城外の一部にも煙

々と電燈點じ動力配電も行つてゐる、水

道は現在軍の直營下に全市に配水されて

ゐるが近く興中公司經濟として一層整備

される又城外の揚子江製粉公司工場は近

く合辦新會社の手で操業開始の筈で生産

能力は一日四千袋で南京一帶の食料問題

の一部も之で解決される。電信は日本無

線株式會社の手で既に開業、更に電話は

近く日支商店個人も加入せしめて本格的

施設をなす事となつてゐる。

我が海軍航空隊の〇〇機は七日長翔宜昌を空襲したがその歸途漢口附近におい

て現れた敵戦闘機二十一機と壯烈な空中戦闘を交へ忽へその三機を撃墜。

四月八日 潰滅に瀕した支那空軍を追つて

我が海軍航空隊は連日武漢地方をはじめ

宜昌、重慶の奥まで長翔して各飛行場、

その設備等を爆撃してゐるが、我が空襲

到るの報が一度各地に響き渡ると敵の戦

闘機は早く姿を晦して全く戦意を失ひ

我が海の荒鷺は脾肉の歎をかこつてゐ

る。長期抵抗を呼號してゐる國民政府で

は潰滅した空軍を辛くも輸入飛行機に仰

ぎつゝ果敢ない努力を續けてゐるが現在

敵空軍の所持飛行機は大體二百三十機

と見られ、昨年十二月以降毎月約六十機

平均のソ聯機が輸入されて居りソ聯製飛

行機で現在ゐるもの約五十機、その他英

國のグラヂエーター約四十機、ペランカ

七、八機で去る七日宜昌空襲の時漢口附

近で珍しくも我が海の猛鷺を邀へた敵機

はソ聯製イ十五型四機、イ十六型七機だ

つたが、姿を現はすや忽ち三機を撃墜され他は悉く逃走してしまつた。最近の支那空軍は全く見るも憐れな程戦意を失つてゐる。

四月九日 全國道府縣經濟部長會議開催内

務省會議室に於て末次内相別項の如き訓

示をなしたる後、國民精神總動員運動に關する件△產業經濟行政機能の振作に關する件△水害の防止減輕に關する件△河

水統制調査に關する件△時局と港灣の企

畫經營に關する件△陸上交通事業調整法

に關する件の諸事項の指示があつた。内

相訓示の要旨△支那事變は既に第二の段

階に入つて事端は益々錯綜を極め時局は

愈々重大性を加へてゐる、従つて此の上

とも一層國民精神總動員運動の普及徹底

し普及し着々その實績を擧げつゝある

も特に刻下の非常時局に當りては國民精

神總動員の趣旨を具現する極めて有効通

切の企であるから更に一段の力を致しこれが指導と獎勵とに努められたい。

四月十日 今次國民黨臨時全國代表大會で

設置決定を見た國民黨青年團の組織に關しては第五期四中全會で協議中であつた

が團長は蔣介石が兼任、その下に評議會を設け、その他團幹部は團長の指名任命によることに決定を見た。

去る五日開局した南京電報局の開業景況を窺ふと支那では上海、青島、北支各地と華文通報が交換され一般國際電報も打て、開業早々といふのに毎日平均五十通の送受信があり南京在住のドイツ、アメリカ人その他外人筋の國際電報を盛んに受付けてゐる。開局早々としては豫想外の成績。

春季漫吟

初聲

わびしらの窓ひらく手に落花かな

朝霧濃き姉の唄なり桑摘女姿見えぬ唄に茶摘の丘の途

橋の上の妻に物いふ蜆かき釣るほどに飲む程に舟の鮒膾

二の腕のつやつやしさよ植庖瘡

トラックに荷馬車につゝく遍路笠

北山に去來の雲や殘る雁

鳥雲に仔牛の眠る納屋古りぬ

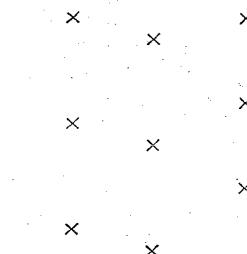
鳥雲に長江の水漫々と

鳥の巣や隣の松は賣られけり

櫻草君がたもとに萎みけん

櫻草今年は誰と樂しまむ

高樓の句會に更けて春惜む



放牧の霞みて廣き山河哉
敵機皆霞の中へ逐はれ去る
入學や相携へて隣り同士
親と連れ立つ子入學の孤兒俗し

背の兒の掌に萎れたり櫻草
櫻草の一莖伸びぬ忘れ鉢

巴藤